

指定管理業務点検・評価シート（令和3年度業務）

令和4年7月27日

施設名	とっとりバイオフロンティア	所在地	米子市西町133番地2
施設所管課名	商工労働部産業未来創造課	連絡先	0857-26-7564
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	平成31年度（令和元年度）～令和5年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積：1,260.84㎡ ○施設内容：研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4、管理室1、オープンラボ1
利用料金	（別表のとおり）
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、セキュリティーカードを使用することで、開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、セキュリティーカードを使用することで、休刊日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務（施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等） ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務（利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務） ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務（相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等） ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	無期職員：3名、任期付職員：5名〔計8名〕
	<p>【体制図等】</p> <p>施設長（任期付職員、機構バイオフロンティア推進室室長兼務）</p> <ul style="list-style-type: none"> — チーフスタッフ（無期職員） <ul style="list-style-type: none"> — 総務管理担当スタッフ（任期付職員） — 機器担当スタッフ（無期職員） — 会計担当スタッフ（任期付職員、機構本部駐在） — 事業推進コーディネーター（無期付職員） — 人材育成コーディネーター（任期付職員） — 研究支援コーディネーター（任期付職員）

4 施設の利用状況

利用者数（人： 貸実験室等入居 者含む）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3年度	1,945	2,093	2,115	2,153	2,263	2,220	2,387	2,380	2,388	2,292	2,181	2,486	26,903
	2年度	2,737	2,526	2,416	2,397	2,181	1,956	2,091	1,891	1,828	1,886	1,792	2,066	25,767
	増 減	△ 792	△ 433	△ 301	△ 244	82	264	296	489	560	406	389	420	1,136

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3年度	1,503	1,243	1,378	1,303	1,423	1,464	1,509	1,474	1,433	1,404	1,386	1,354	16,874
	2年度	1,626	1,337	1,422	1,409	1,456	1,423	1,523	1,442	1,380	1,364	1,404	1,357	17,143
	増 減	△ 123	△ 94	△ 44	△ 106	△ 33	41	△ 14	32	53	40	△ 18	△ 3	△ 269

5 収支の状況

区 分		3年度	2年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	8,519	8,407	112
		機器使用料	3,541	3,453	88
		その他	231	3	228
		小 計	12,291	11,863	428
	事業外収入	光熱水費 動物飼育管理料負担金収入	4,803	5,304	△ 501
		自動販売機手数料	88	97	△ 9
		受取利息	0	0	0
		県委託料	64,829	72,902	△ 8,073
		小 計	69,720	78,303	△ 8,583
	計	82,011	90,166	△ 8,155	
支出	人 件 費	28,834	25,187		
	管理運営費	53,177	64,979		
	計	82,011	90,166	0	
収 支 差 額		0	0		

6 労働条件等

確認項目		状況			備考
		無期職員	任期付職員	任期付職員 (本部常駐スタッフ)	
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働 者を起床する場合は作 成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	※労働基準監督署長へ の届出が必要な協定の有 無
労働時間	所定労働時間	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	※幅がある場合は上限、 下限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、 自己申告、使用者の現認 などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	※幅がある場合は上限、 下限を記入
給与	給与金額	222～230千円/月	218～332千円/月	175千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり

(参考)

- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）
 - ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
3,001人以上（6人選任）		
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、すべてWeb会議システムよるセミナーに変更した。 ・ニーズに即したテーマ、講師を選定し、抗体医薬、ワクチン、ウイルスなどトピック的な話題を盛り込んだ利用者に役立つセミナー開催に努めた。 ・セミナー内容は録画で一定期間限定公開し、当日視聴できない受講者にも対応した。 ・令和3年度のセミナー開催数は19講座(内、1講座は機器セミナー)、受講者数は618名(録画視聴含む)であった。 ・県内高校生向け科学ワークショップを開催し、「DNAでアユを探そう」「DNAでコシヒカリ鑑定」が好評であった。
設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設備品として保有している実験器具に関し、標準作業書(SOP)を作成し、適正な実験が行えるよう支援した。 ・職場巡視、化学物質管理委員会、化学物質セミナーを実施し、入居企業や開放機器利用者への化学物質の取扱い及び実験環境の整備推進を行った。 ・とっとりバイオフィロンティア開設から10年を過ぎ、施設設備各所の修繕も目立った。不調等が確認された場合、設置業者による対応を行った。 ・実験機器については、日々作動確認を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる対応を行った。 ・電気錠保守については、入退出管理装置のバッテリーの交換時期となり13個のうち5個を交換し、残りの8個については次年度での交換予定となった。 ・施設内の動線について、建物の構造上におけるバリアフリーを配慮する見直しを行い、2F管理室と1F風除室にインターホンと、2F管理室から1F風除室のドアを開閉できるドア解錠ボタンを設置した。 ・入居企業の案内板を施設の外側に設置し、入居企業へ訪問する外来者が迷わず入館できるよう移設を行った。
事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ分野の動向(JBA創業モダリティ基盤研究会等)やニーズを調査し、入居企業の事業推進に直接あるいは参考となる役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。 ・入居企業の受託試験に関連し、機器の保守管理に関する標準作業手順書(SOP)の整備を行うと共に、企業から要望があった資料の提供に努めた。 ・モデル動物の海外展開のための品質管理に関する微生物管理状況を英語バージョンで提供した。 ・入居企業と米子高専・大学等との染色体関連技術の共同研究を進めるため、起業化促進事業助成金への申請支援を行った。モデル動物や間葉系幹細胞関連で2件の採択があった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学と動物飼育支援に関する合意書により、動物飼育管理業務を円滑に実施するため、動物飼育器材の準備を委託している業者、設備提供を受けている鳥取大学等と設備の維持管理を行う上で連絡調整を行った。 ・ホームページをリニューアルし、利用者の目的に沿った分かりやすい情報発信を行った。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者の要望、意見については7月に行った入居企業ヒアリングでの聞き取りや、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
取引製薬メーカーから分析データの品質管理を求められている。データの信頼性維持のため、古くなっている機器の更新をして欲しい。	令和3年度に県と協議を行い、機器9種類の更新予算を獲得。令和4年度に更新機器を導入予定。
製薬メーカーとの新規取引、取引の継続に会社の品質管理を求められことが頻繁になっている。バイオフィロンティアも協力して欲しい。	標準作業書（SOP）の作成並びに継続的な更新を行っている。入居者の要望に合わせて、SOP、管理状況の提供を行った。
動物飼育室の温湿度の安定的な運営を行って欲しい。	温度不安定の要因であった冷却水配管の清掃を令和3年度から年一回実施し温湿度の安定性を確保。また、令和2年に設置した温湿度センサーの保守点検を年一回実施。
細胞品質管理・安全性確保についての図書がほしい	希望の図書を購入し、入居企業への貸し出しを行った。
プレートリーダーEnSightについて、同じ実験台に設置されている遠心機の振動がデータに影響してしまう。移設してほしい。	設置場所の移動を行い、振動が少ない場所での分析ができる環境を整えた。
3階実験室内に酸素濃度計を設置してほしい。	3階実験室の入居企業にアンケートを実施し、全社設置要望ということだったので、令和3年度4部屋すべてに酸素濃度計を設置した。
施設の概要・趣旨を理解してもらうためにも、もっと広報してはどうか。	鳥取県がバイオ産業に関する企業支援をするための施設であることを鳥大等、様々な場所へ向けて広報を行った。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ BioJapan等商談会、展示会への出展支援等、企業PRを進めてもらい助かる。 ・ 機器利用料金が非常に安価で助かっている。 ・ バイオ分野の動向やニーズ調査等について、役に立つ研究会やセミナー情報が大変参考となった。 ・ 人材育成セミナーでは、ニーズに即したテーマや著名な講師の講演など、興味深い内容が数多くみられ、企画に対する工夫が感じられた。

9 指定管理者による自己点検

<p style="text-align: center;">〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりバイオフロンティア開設から10周年にあたり記念シンポジウム・記念式典・識者と高校生とのパネルディスカッションを開催(You Tubeライブ配信、アーカイブ配信あり)。本事業に伴い、10周年誌の発刊、地元新聞、ケーブルテレビ番組等により、県内関係機関、全高等学校へ多いにPRすることができた。 ・展示会出展等(BioJapan2021、ファーマラボEXPO大阪、県民の日フェア、県立高校図書館巡回展示)でブース展示を行い、当施設および入居企業のPRを行った。 ・(一財)日本バイオインダストリー協会(JBA)の創薬モダリティー基盤研究会の他、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団を事務局とするバイオベンチャーアライアンス(BVA)に入会し、セミナーやメールニュース等、役立つ情報を入居企業に提供し事業支援を行った。 ・入居企業の受託試験に関連し、機器の保守管理に関する標準作業手順書(SOP)の整備を行うと共に、企業から要望があった資料の提供に努めた。 ・入居企業と米子高専・大学等との染色体関連技術の共同研究を進めるため、起業化促進事業助成金への申請支援を行った。モデル動物や間葉系幹細胞関連で2件の採択があった。 ・人材育成セミナーは前年度に続き新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、すべてWeb会議システムによるセミナーに変更した。ニーズに即したテーマ等の工夫により前年度よりも受講者が増加した(受講者:R2年度447名、R3年度618名前年比:約28%増)。 ・技術士補の資格試験に向けた対策講座を開催し、施設利用企業等が必要とする人材の資格取得を支援した(3名合格)。 ・県内高校生を対象とした科学ワークショップ(2回開催)は、バイオ実習等を通じて、探究学習に必要な「自ら発想する力」を育成し、先端機器を活用した研究開発の現場に接することで、バイオ技術の実際について具体的なイメージをつかみ、バイオ分野の研究に対して親しみを持てるような機会となった(新聞報道2社あり)。 ・2Fに管理室があるという建物の構造上の問題において、バリアフリーを配慮する動線を構築するため、2F管理室と1F風除室にインターホンと、2F管理室から1F風除室のドアを開閉できるドア解錠ボタンを設置した。このことにより、エレベーターで直接2Fへ行くルートを確認できた。
<p style="text-align: center;">〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化による雨漏り、外壁のコーキング(防水)の劣化があり、施設の計画的な修繕が必要である。 ・年中エアコンを付けている3F動物飼育室の空調は常に気をつけなければならないが、経年劣化のためか不調が多いので更新計画が必要である。 ・機器については、10年が経過し順次更新が必要になってきている。使用頻度の高い機器は、更新するための予算要望を県と協議しながら進めて行きたい。 ・新型コロナによる感染が終息しないため、県外での展示会等への出張が制限されている。ONLINEでの支援へ移行してはいるが、対面的な販路拡大や技術連携の支援業務の取り組みができるようになって欲しい。

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・入居企業の受託試験に関連し、機器の保守管理に関する標準作業手順書(SOP)の整備を行うとともに、企業と相互に利用しやすい書式での提供に務めた。また、モデル動物の海外展開のための品質管理に関する微生物管理状況を英語バージョンで提供した。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多人数が集まるセミナー開催から会場への聴講者参集を要しないWeb会議システムに変更するとともに、抗体、ワクチンなどトピック的な話題を盛り込み利用者に役立つセミナー開催に務めた。⇒セミナー開催19講座 受講者数618名(録画視聴含む)
[利用者総合支援業務の実施状況] ○利用者の研究開発及び事業化推進(事業計画、進捗状況把握等) ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・バイオ分野の動向(JBA創薬モダリティ基盤研究会・BVA等)やニーズを調査し、入居企業の事業推進に直接あるいは参考となる役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。 ・入居企業と米子高専との染色体関連技術の共同研究を進めるため、とっとり起業化促進事業助成金(鳥取県産業振興機構)への申請支援を行った。モデル動物の間葉系幹細胞関連で2件の採択があった。

<p>[バイオ人材育成事業の実施状況]</p> <p>○人材育成カリキュラム作成・研修実施</p> <p>○広報等</p> <p>○事業評価、ニーズ把握、効果検証</p>	4	<p>○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。</p> <p>(コメント)</p> <p>・バイオに関する知識や動物実験技術の向上、創業、知的財産に関する講座等を開校し施設利用企業等が求める人材の育成を図った。(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大人数が集まるセミナー開催から会場への聴講者参集を要しないWeb会議システムで実施)⇒セミナー開催19講座 受講者数618名(録画視聴含む)再掲。</p> <p>・県内高校向け科学ワークショップは(2回開催)は、バイオ実習等を通じて、探究学習に必要な「自ら発想する力」を育成し、先端機器を活用した研究開発の現場に接することで、バイオ技術の実際について具体的なイメージをつかみ、バイオ分野の研究に対して親しみを持てるような機会となった。</p> <p>・BioJapan2021、ファーマラボ大阪、とっとり県民の日フェア、県立高校図書館巡回展示等の展示ブースで、入居企業およびとっとりバイオフロンティアに関するPRが広がった。</p> <p>・とっとりバイオフロンティア10周年事業では、記念式典やシンポジウムなど周年行事に相応しい内容であった。特に高校生を交えたパネルディスカッションは、医療や産業において鳥取県の未来の語り合う絶好な機会となった。地元新聞、ケーブルテレビの番組で紹介された。</p>
[収入支出の状況]	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[会計事務の状況]	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
<p>[職員の配置]</p> <p>○事業全体の総括責任者</p> <p>○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者</p> <p>○動物飼育に関する経験者</p> <p>○利用者の要望に応えられる体制</p>	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[関係法令の遵守状況]	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
<p>総 括</p>	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。

3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。

1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。